

## 山岳ガイドを志望する方へ

プロフェッショナルとしてのガイドを目指す皆さんは、アマチュアである一般の登山者やクライマーよりも豊富な経験、より困難な状況での成功・実績、技術を持っている必要があります。そのため、「条件の良い時に短期速攻で登るような登山スタイルだけではなく、ある程度の長期間、重厚な山とじっくりと取り組み、アルピニズムの本質であるルートの終了点としての山頂にこだわるスタイルも経験して欲しい。」を要求します。

なぜならば山頂を目指す過程の中で、天気や雪の条件の良い時も悪い時なども含めた、幅の広い経験が積めるからです。

また、現代の技術や知識は、先人からの継承によって確立されてきているため、登山史、登攀史や文化、スタイルの変容（国内、海外ともに）なども知識として理解、把握しておいて欲しいと願います。

本文書は以下の構成である。

P1：本ページ

P2：書類審査基準

この基準を超えた者が書類審査に応募して下さい。

応募者の記入用の書類は「登山歴ガイド歴報告書 2023（山岳ガイド用）」

P3：これまでに自分が実践してきた山、登攀について、どのような思い（ルートの選び方、コンセプト等）、好みのタイプ等を 400 字以上で書いて下さい。

山岳Ⅰ・Ⅱ受験資格における登山経験・技術基準表（2023年～）

20220701

	山岳ガイドステージⅠ	山岳ガイドステージⅡ
山行 日数	300日以上（以下を含む） ・積雪期の標高2000m以上の経験が100日以上 *北海道については標高1300m以上	450日以上（以下を含む） ・積雪期の標高2500m以上の経験が180日以上 *北海道については標高1500m以上
縦走登山	積雪期幕営山行 4泊5日間以上を3回以上	積雪期幕営山行 4泊5日間以上を5回以上
標高	3700m以上の登山にて問題ないこと	3700m以上の登山にて問題ないこと
登攀	<u>無積雪期</u> ・3級+以上を15本以上 <u>積雪期</u> ・3級-以上を10本以上	<u>無積雪期</u> ・4級以上を15本以上 <u>積雪期</u> ・4級-以上を10本以上
フリー クライミ ング	・トラッドクライミングルート（5.10a）とスポーツクライミングルート（5.10a）のレッドポイントが各15本以上 ・登山靴でIV級-まで確実にリードできる	・トラッドクライミングルート（5.10c）とスポーツクライミングルート（5.11c）のレッドポイントが各15本以上 ・登山靴でIV級+まで確実にリードできる
アイス クライミ ング	・IV級30m程度の氷壁を確実にリードできる ・上記を含む2ピッチ以上のアイスクライミングルートを経験が10本以上	・V級40m以上の氷壁を確実にリードできる ・上記を含む3ピッチ以上のアイスクライミングルートを経験が10本以上

注：

- (1) 無積雪期(6月～11月)、積雪期(12月～3月)、残雪期(4～5月)とするが、エリアにより考慮する。
- (2) 全て15年前までの記録とする。
- (3) ガイド登山、公募隊登山、指導者の元におけるクライアントとしての山行は含まない。
- (4) 岩壁登攀はルートの50%以上をリードしていること。
- (5) アラビア数字はルートグレード、ローマ数字はピッチグレード
- (6) 国内のローカルグレードやグレーディングされていないルート、困難な沢ルート、海外での岩壁・岩稜の登攀歴は内容を吟味して判定します。
- (7) グレードに関して下記の書籍等を参考とする。

「日本の岩場 上・下」(白山書房)、「冬期クライミング」(白山書房)、「日本100岩場」(山と溪谷社)

「新版アイスクライミング」(白山書房)、「北海道の山と谷」(山と谷制作会)

## 「これまでに自分が実践してきた山、登攀について」

(どのような思いでルートを選び登ってきたか、記憶に残る登攀、好みの登攀タイプ、その他、自分の経験に対する思いを 400 字以上で書いて下さい。)

---

別途フリーフォーマットで書いて提出書類に添付してください。